

## <報道発表資料>

.....  
カテゴリー：お知らせ

令和8年6月8日

# サクラ等の外来害虫クビアカツヤカミキリによる 被害拡大 -12 市町で初確認、被害は 1,391 か所に増加-

環境科学国際センターでは、外来害虫“クビアカツヤカミキリ”からサクラ等を守るため、平成 30 年度から、「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を実施し、県内の被害状況を把握しています。

このたび、令和7年度の調査結果がまとまり、令和6年度よりさらに被害が拡大しました。

## 1 「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2025」の結果概要

県内では、63 市町村のうち、56 市町村の 1,391 か所で被害（成虫のみの確認を含む）が確認されました（表1）。

令和6年度の 44 市町村から新たに 12 市町増え、被害箇所数は 931 か所から 1,391 か所へと約 1.5 倍に増加しました（表1、図1）。

### ●令和7年度に新たに被害報告があった自治体（8市4町）

所沢市、飯能市、狭山市、朝霞市、新座市、富士見市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、横瀬町、皆野町、小鹿野町

### ●「クビアカツヤカミキリ情報」サイト

クビアカツヤカミキリに関する基礎的な情報や資料用画像の他、県内の被害発生地域に関する情報（クビアカツヤカミキリ調査地点マップ）や被害防止の手引を公開しています。

URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>

クビアカツヤカミキリ情報 cess

表1 被害発生市町村と被害箇所数

市町村	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
熊谷市	45	69	106	130	167	153	124	79
行田市	30	46	99	68	53	60	79	57
加須市	2	5	18	12	78	30	223	138
羽生市	10	16	66	69	47	29	10	13
深谷市	11	7	57	10	10	55	26	31
草加市	23	44	48	69	83	90	10	124
越谷市	4	4	5	7	15	16	31	62
八潮市	3	6	8	14	16	22	16	1*
鴻巣市	—	3	14	15	4	54	70	43
三郷市	—	1	2	7	6	9	17	25
吉川市	—	3	2	2	14	12	8	13
寄居町	—	2	2	10	22	14	10	11
本庄市	—	—	1	5	35	97	44	149
久喜市	—	—	1	4	2	28	16	58
幸手市	—	—	1*	3	1	2	8	32
上里町	—	—	1	—	—	7	1	8
東松山市	—	—	—	9	11	24	35	44
吉見町	—	—	—	4	—	12	16	15
美里町	—	—	—	6	4	3	12	8
滑川町	—	—	—	—	1*	37	7	6
小川町	—	—	—	—	4	10	7	35
長瀨町	—	—	—	—	19	8	5	23
東秩父村	—	—	—	—	5	—	1	6
神川町	—	—	—	—	1*	3	4	10
川越市	—	—	—	—	—	1*	9	24
秩父市	—	—	—	—	—	1*	3	20
春日部市	—	—	—	—	—	1	2	7
桶川市	—	—	—	—	—	2	13	19
北本市	—	—	—	—	—	12	40	31
蓮田市	—	—	—	—	—	3	2	9
白岡市	—	—	—	—	—	3	1	12
伊奈町	—	—	—	—	—	3	—	21
越生町	—	—	—	—	—	4	24	32
嵐山町	—	—	—	—	—	20	4	5
川島町	—	—	—	—	—	1	13	33
鳩山町	—	—	—	—	—	4	4	10
宮代町	—	—	—	—	—	2	1	6
さいたま市	—	—	—	—	—	—	3	27
川口市	—	—	—	—	—	—	2*	14
上尾市	—	—	—	—	—	—	5	14
入間市	—	—	—	—	—	—	1	1
坂戸市	—	—	—	—	—	—	15	20
ときがわ町	—	—	—	—	—	—	1*	—
杉戸町	—	—	—	—	—	—	6	6
松伏町	—	—	—	—	—	—	2	21
所沢市	—	—	—	—	—	—	—	2
飯能市	—	—	—	—	—	—	—	1
狭山市	—	—	—	—	—	—	—	4
朝霞市	—	—	—	—	—	—	—	1
新座市	—	—	—	—	—	—	—	1*
富士見市	—	—	—	—	—	—	—	1
鶴ヶ島市	—	—	—	—	—	—	—	7
日高市	—	—	—	—	—	—	—	1*
毛呂山町	—	—	—	—	—	—	—	27
横瀬町	—	—	—	—	—	—	—	7
皆野町	—	—	—	—	—	—	—	9
小鹿野町	—	—	—	—	—	—	—	7
被害発生市町村数計	8	12	16	18	22	36	44	56
被害箇所数計	128	206	431	444	598	832	931	1391

\* 成虫のみの確認

赤枠で囲った市町は令和7年度新たに被害報告があった自治体

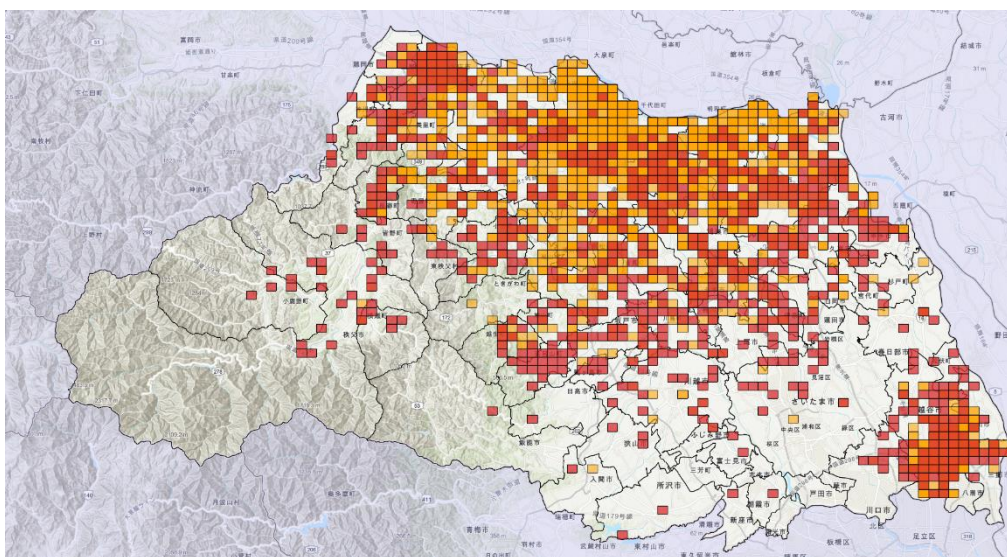


図1 令和7年度までのクビアカツヤカミキリによる被害地域

- ・ 色付きのメッシュは、被害(成虫のみの確認を含む)が発生した地点を含むメッシュ(1km×1km)
- ・ オレンジのメッシュは令和6年度以前に被害が発生した地点を含むメッシュ
- ・ 赤のメッシュは令和7年度に被害が発生した地点を含むメッシュ

## 2 調査方法

クビアカツヤカミキリの成虫(写真1)が発生し、被害が多くなる6月から、県内の公園や川岸、学校などに植えられたサクラを対象に、成虫の発生やフラス(木くずとフンが混ざったもの、写真2)の排出状況など被害の有無をスマートフォンや電子メールなどで、あるいは市町村を通して環境科学国際センターに報告していただきました。令和7年度は、被害がない旨の報告を含め 57 市町村、1,483 か所から報告を頂きました。



写真1  
クビアカツヤカミキリ(オス)

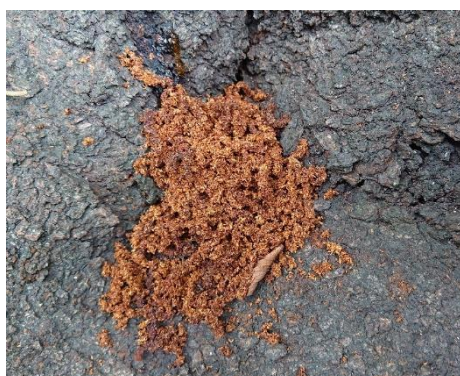


写真2  
サクラの根元に堆積したフラス

### 3 今後の取組

- 1) 効果的な防除対策を進めるため、県民参加による「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を継続し、市町村とともに、県内全域における被害状況の把握に努めます。
- 2) 対策技術の普及啓発を図るため、被害防止に関する研修会や出前講座を積極的に行います。

#### <参考>

##### ● クビアカツヤカミキリについて

- ・ 平成 30 年1月に、特定外来生物に指定された。
- ・ 自然分布は、中国、モンゴル、朝鮮半島、ベトナムなど。
- ・ 幼虫の活動期は春から秋で、この間にフラスを排出する。
- ・ 幼虫は、サクラなどのバラ科樹木の生木を食べ、木の内部で2～3年かけて成長し、蛹(さなぎ)になる。
- ・ 蛹は6月から8月に成虫となり、樹体の成虫脱出孔から樹体外に出る。
- ・ メスの成虫は木の樹皮の割れ目に産卵し、卵を 1,000 個近く産むこともある。
- ・ 成虫の寿命は、野外では1か月程度で、成虫で越冬はしない。